



相模原大野ロータリークラブ

◆会 長:布野 一喬 ◆幹 事:齋藤美希子 ◆副 会 長:宮崎雄一郎
 ◆S A A:笠井 透 ◆会報委員:宮崎雄一郎 ◆URL:http://www.s-oono-rc.jp
 ◆事 務 局:〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX:042(755)0901
 ◆例 会 場:相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
 ◆例 会 日:毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail:oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

2019年(令和元年)8月28日 第1239回例会

会長の時間:布野一喬

会長に就任してまだ2ヶ月ですが、この時間に何を話そうか考えながら今日は来ました。私は常に「四つのテスト」を念頭に置き行動するようにしています。

“真実かどうか みんなに公平か 好意と友情深めるか みんなのためになるかどうか”今回「ひばりの夢コンサート」を開催しましたが、一つひとつ当てはめながら考えて行くことも良いのかと思っています。それと同時に、私の中で緊急事態が起きていて、一昨日、事業所のスタッフ1人が、9月末で退職すると申し出がありました。スタッフ1人減ると、正直なところ仕事に支障が出ます。月1回夜の会長幹事会でさえも出席できるかどうか危ぶまれます。この時間に話すべき事ではないのかもしれませんが、大変苦慮しています。10月には介護報酬も変わり、会社としてもダメージがあり、会議等にも出席できる状態ではなくなると思います。会長の途中交代という事態は避けたいと思っていますが、皆さんに代理出席をお願いする事が多少あると思いますので、その際は宜しくお願いします。今回退職を申し出たスタッフにも、家庭の事情があり「四つのテスト」を当てはめて、彼女に対してもっと何かできたのではないかと思いますし、自分の力不足でこのような事態になったのではないかと考えます。ロータリーに入会して、多くの方々と出会い、色々な話をして、今回の「ひばりの夢コンサート」でも多くの皆さんに助けられました。何をするにしても一人では出来ないもので、常に「四つのテスト」を胸に刻みながら、スタッフにも対応していかなければならないと強く思っています。任期は全うするつもりでいますが、皆さんにお願いする場面もあると思いますので、その際はご協力宜しくお願いします。

幹事報告:齋藤美希子

- ・地区大会メジャードナー顕彰午餐会の案内
- ・ロータリーの友広報誌「Rotary 友と歩む地域と歩む」10冊セット(500円+税・送料)

- ・米山記念館賛助会入会・百円募金運動協力をお願い
- ・青年会議所「さがみはら大作戦~未来を創る」案内

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

8/30(金)津久井※

9/2(月)相模原東※

9/9(月)相模原東※

週報受領 相模原南

その他来信 米山記念館館報

ハイライトよねやま 233号

AMDA ジャーナル夏号

**2019-20年度
第2780地区地区大会
10/19(土)~20(日)
会場:センチュリー相模大野
相模女子大グリーンホール**



委員会報告

角尾彰央 会員/昨日、座間会員と青少年交換派遣学生の石渡君を見送りに行き、元気に旅立ちました。

クラブ協議会:ひばりの夢コンサート反省会

会計について/中丸剛 会員

現在、補助金プロジェクト完了報告書を作成中です。
 概要:2019年8月3日、相模原大野 RC 会員が相模女子大グリーンホールにて「ひばりの夢コンサート」を企画・実施した。相模原市内小学校3校及び県立相模原高校の吹奏楽部部員と、指導する教員及び小学校吹奏楽部の保護者・役員と共に、コンサートの周知・宣伝及び演奏プログラムの作成等事前準備を行い、当日の会場設営・来場者の案内等を行い、ロータリーの公共イメージアップに繋がった。子ども達の日頃の練習成果を発表する機会を提供すると共に、来場者には子ども達の演奏はもとより、活動を支える教員や保護者の熱意と、情操教育の素晴らしさを伝える事が出来た。また、市内の小学校には吹奏楽部が3校しかなく、指導する教員の働き方改革や予算などの関係により、活動も制限せざるを得ない状況であり、活動の実態を知って貰う事により、今後も活動を継続して行く為に、広く理解を得られる良い機会とする事が出来た。

受益者は誰ですか・どの様な恩恵を受けましたか:上記3校の吹奏楽部の部員全員が、グリーンホールの大舞台上で演奏することが出来た。公式なコンクールでは

各校の選抜された部員が代表して演奏するため、部員全員が演奏することは出来ず、漏れた他の部員は裏方で演奏のサポートをしていた。グリーンホールで演奏することにより、部員全員が同じ舞台上で演奏することが出来、大勢の観客の前で日頃の練習の成果を発表することが出来た。また、神奈川県吹奏楽コンクール金賞受賞した、県立相模原高校吹奏楽部を招待し、小学生が高校生から演奏指導を受けたり、一緒に演奏することにより、吹奏楽に対する更なる向上心を育む機会となった。更には保護者だけでなく、地域住民を招待したことにより、今まで知られていなかった子ども達の活動を周知し、こういった活動を支え継続していく必要性が有る事を伝えることが出来た。

財務報告：予算／クラブ拠出金 16 万円、地区補助金 47 万円、計 63 万円の予算計上。実際は、地区補助金はレートの関係で 461,160 円、計 621,160 円。支出総額は 65～66 万円（支払い完了していない）となり、約 2～3 万円の予算超過。原因は、チラシ（広告宣伝費）、楽器運搬費（当初予算 32,000 円が 13 万円）、パンフレット作成費（当初予算 12 万円が 17 万円）が予算オーバーした。逆に会場設備費（当初予算 25 万円が 13 万円）が約半分で収まった。赤字分については、クラブ奉仕会計・青少年奉仕から補填する。

感想としては、今回初めての事で分らない事も多々ありましたが、次年度以降継続するとしても、今回の経験が生きてくると思います。問題はマンパワーです。特定の人に負担が多く掛かったので、全員で協力的にやっていければ良いと思いました。

布野会長：皆さんから反省点などをお願いします。

- ・細かい事を言えばきりが無いが、長じて言えば大成功だったと思う。
- ・今年度はこれで終わっても良いと思える程だった。
- ・大成功だったと思う。南 RC、グリーン RC、かめりあ RC の皆さんに感謝。各クラブにはお礼の訪問を。脇 PG から「客席に小中学生がいない。小中学生に是非鑑賞してもらいたい」との言葉を頂いた。
- ・総じて大成功だったと思うが、会長幹事の負担が相当地に大きかった。続けるにしても、会員全員で分担していかないといけない。特定の人だけに過重負担

出席報告 が掛かる事は避けるべき。

- ・初めての事としては成功だったと思う。継続するとなれば、経費の問題をどうするかが問題。今回の来場者が、次回も来るとは限らないので、色々な事を考えて会員全員で協議し乍ら進めて行って欲しい。
 - ・手探りだったので、“知らない” ことが沢山有る事を知った。自治会に回覧板を回すのに、何時までに、何処へ、承認を貰うなど、手続きが必要だった。今回はチラシ印刷が間に合わず、カラーコピーを大量にしなければならなかったが、もっと安く大量に印刷できる方法を考えたい。会員数が少ない上に、初めての事だったので仕方なかったが、非常に負担が大きかった。仕事に支障が出る事も多かった。実行委員長を連続して務めるのは厳しい。もっと分担を細かく出来ればよかったが、何を如何すればよいのか分からなかったので、会長幹事で動く事になってしまった。次年度以降も開催するのであれば、細分化した分担を考えたい。問題は経費で現在は全くの白紙、スポンサーを募る、相模原市の協賛を得る、大野 RC だけで抱えず他クラブと共催にするなど、考える必要がある。2 回、3 回と更に続けるなら、どこかで大きな団体と組まなければ難しいと考える。先生方は来年 10～11 月開催を希望している。会場予約が 1 年前の 1 日なので、次年度の事ではあるが、早急に話し合い、クラブの方針を決定する必要あり。
 - ・素晴らしいプロジェクトなので、継続が望ましい。子ども達の顔を見ると何とかしなければと思う。
 - ・今回大きな財産を貰った。アンケートにも好意的な意見やアイデアが多いのでキチンと集計を。
 - ・補助金が無い場合は継続の為に入場料を取ることも。
- 布野会長：子ども達の笑顔が素晴らしかったし、会長幹事会や方々から中学校も含めて開催を、第 5 グループでカンパを、他クラブと共催を等、様々な意見を頂いています。子ども達の感想は未回収ですが、期待している子ども達の気持ちを考えると複雑です。次年度やるにしても全員参加でなければ意味がありません。会場予約の都合もあるので、今月のプログラムを変更して、再度クラブ協議会を開きたいと思います。

スマイル報告 今年度累計 ￥11,500

判治君代 会員 お早うございます。元気にやっております。

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率
14 名	2 名	10 名	2 名	0 名	3 名	83.33 %